

科目名		経営管理工学 (Industrial Management Engineering)							
学年	専攻	単位数	必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第1学年/ 第2学年	経営情報工学専攻/ 生産システム工学専攻, 物質工学専攻	2単位	選択	選択	後期	90 時間			
担当教員		【常勤】講師 挾間 雅義 (【副担当】岩本 英久(呉高専), 未定(徳山高専))							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	<ul style="list-style-type: none"> 経営管理、販売管理についてやや難しい知識を理解し、発展的に応用できる。ビジネスプランについては自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる。 経営工学手法を理解し、プログラミングを用いて、モデルを作成することができる。 								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①	経営管理・販売管理について、やや難しい知識を有することができ、発展的に応用できる	経営管理・販売管理について、正しく理解でき、応用できる	経営管理・販売管理について、ある程度の知識を有し、すこし応用できる	経営管理・販売管理について少しの知識しか有さず、応用もできない					
到達目標②	ビジネスプランを自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる	ビジネスプランを自主的に構築できる	ビジネスプランを定められた書式の範囲内で構築できる	ビジネスプランを構築できない					
到達目標③	プログラミングを用いて作成し、シミュレーションをすることができる	経営工学手法を用いてモデルを創造することができる	経営工学手法の基本部分を理解できる	経営工学手法を知らない					
学習・教育到達目標	D①		JABEE基準1(2)		(d)-(3)				
達成度評価 (%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	○							
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	◎		○					
汎用的技能 【情報収集、活用、発信力】				○					
態度・志向性(人間力) 【主体性】				○					
総合的な学習経験と創造的思考力 【創成能力】				○					

関 連 科 目 ， 教 科 書 お よ び 補 助 教 材

関連科目	経営工学ⅠA、経営工学ⅠB、経営工学ⅡA、経営工学ⅡB、品質管理論、生産管理論
教科書	プリントを配布する
補助教材等	プリントを配布する

学 習 上 の 留 意 点

応用的な内容を扱うため、少し難しいと思うかもしれないが、わからない部分はまず、自分たちで調べ、次に教員に質問することで解決させておく必要がある。半期の中で講義とグループワーク形式により、他高専間の学生と交流し、コミュニケーションを取りながら、いろいろな視点で経営工学特論(呉高専では経営管理工学)の内容を理解する。

担 当 教 員 か ら の メ ャ ッ ー ジ

他高専生との交流形式で授業をおこないますので、楽しみながら取り組んでください。

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	1. 連携教育に関するガイダンスと遠隔チーム編成	・授業の進め方について理解できる ・遠隔チーム編成が構築できる	(予習) Office365などICTの操作の習得
2	2. 企業経営の基礎と起業計画および販売管理	・企業経営の基礎を理解し、起業・創業の基礎を理解できる ・ビジネスプラン作成方法を理解する ・市場調査、プロモーションミックス、AIDMAを理解できる	(復習) ビジネスプラン作成方法と販売管理について
3	3. 販売管理ワークショップ	・広告に関するワークショップ(WS)を通じて、遠隔グループワークを実践できる	(予習) AIDMA (復習) チームでまとめた内容の確認
4	4. ビジネスプラン作成WS 1 ガイダンス	・テーマを理解し、市場調査方法、原価計算手法、利益計画立案方法を理解する	(予習) ビジネスプラン作成方法について (復習) 市場調査方法、原価計算法、利益計画立案法
5	5. ビジネスプラン作成WS 2	・仮想商品の市場調査を実施できる ・原価を想定し、利益計画を立てることができる ・チームで役割分担し、チームワークができる	(予習) Office365などICTの操作 (復習) チームの情報共有と整理
6	6. ビジネスプラン作成WS 2	・ビジネスプランを発表することができる ・ビジネスプランをレポートにまとめることができる	(予習) チームで収集した情報の集約 (復習) レポートの作成
7	中間試験		
8	7. スケジューリング手法WS 1 ガイダンス	・スケジューリングに関して、基礎から復習し、演習問題が解けるようになる	(予習) R言語もしくはVBAやC言語の基本的理解をする (復習) レポートにより内容を理解すること
9	8. スケジューリング手法WS2	・スケジューリングに関する演習問題を解き、やや複雑な内容の問題を解くことができる	
10	9. スケジューリング手法WS3	・プログラミングを用いて、スケジューリングモデルを作成することができる	
11	10. 意思決定法(待ち行列理論) WS1 ガイダンス	・待ち行列に関する方法論を理解する	
12	11. 意思決定法(待ち行列理論) WS2	・待ち行列に関して、演習問題が解けるようになり、やや複雑な内容の問題を解くことができる	
13	12. 意思決定法(待ち行列理論) WS3	・プログラミングを用いて、待ち行列モデルを作成することができる	
14	13. 意思決定法(待ち行列理論) WS4	・プログラミングを用いて、やや複雑な待ち行列モデルを作成することができる	
15	答案返却、解答解説	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を確認し、理解することができる	
総学習時間数			90 時間
講義			30 時間
自学自習			60 時間